

平成 27 年 1 月 2 1 日

〔 資料提供先 〕 鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者会、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ、三次市記者クラブ

中国横断自動車道 尾道松江線（愛称：中国やまなみ街道）
が平成 27 年 3 月 22 日（日）に全線開通します。
～つながる山陰と山陽！沿線地域の活性化に期待～

中国横断自動車道「尾道松江線」の世羅 I C～吉舎 I C 間（延長 20.4km）が平成 27 年 3 月 22 日（日）に開通することになりましたのでお知らせします。今回の開通により、尾道松江線が全線開通することになり、山陰－山陽間、また四国まで高速ネットワークでつながります。
※開通式及び通行可能時間については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

尾道松江線の全線開通により、山陰と山陽、四国まで高速ネットワークが形成され、地域間の連携、交流の促進、物流効率化、観光振興などの地域経済の好循環が期待されます。

【全線開通により期待される効果】

① 広域周遊が可能となり観光産業の活性化に期待

全線開通により広範囲の観光地に行きやすくなるなど、観光地間の移動が快適になりさらなる観光振興の拡大が期待されます。

〔全線開通前：3 時間 50 分 → 全線開通後：2 時間 30 分（約 80 分短縮）〕

② 地域産業の支援・日本海側拠点港「境港」の利用拡大

沿線地域の企業立地の促進や新たな雇用創出など、更なる企業活動の活発化により、地域経済の好循環が期待されます。

日本海側拠点港「境港」から広島方面や瀬戸内地域との高速物流ネットワークが形成され、北東アジア地域との貿易の促進や、国内海上物流の拡大が期待されます。

◆道の駅「世羅」を整備しています

松江自動車道開通に合わせ IC 周辺に開業した道の駅「たかの」や「たたらば壱番地」は、雇用促進など開業以来、地域の拠点としてにぎわい創出しています。

世羅町においても道の駅を整備中であり、魅力ある地域の拠点となることで、観光の振興の拡大や雇用創出など、地域がより一層活気づくことが期待されます。

【問い合わせ先】

○ 福山河川国道事務所管内 国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副所長（道路担当） 沢口 俊樹
いまち かずまさ

【担当】調査設計第二課長 井町 和正

〒720-0031 広島県福山市三吉町 4 丁目 4 番 13 号 TEL: (084) 923-2510 (ダイヤルイン) FAX: (084) 923-2517

○ 三次河川国道事務所管内 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

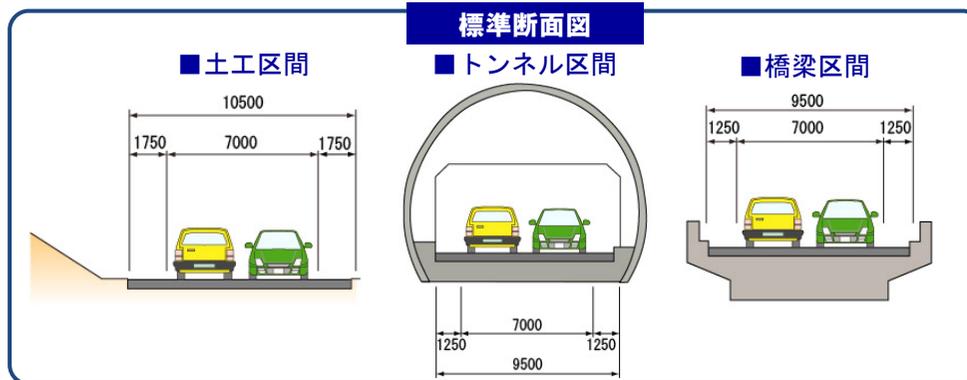
副所長（道路担当） 田中 敏彦
もりやま かずひこ

【担当】調査設計課長 守山 和彦

〒728-0011 三次市十日市西六丁目 2 番 1 号 TEL: (0824)63-4121 FAX: (0824)64-2240

◆中国横断自動車道「尾道松江線」の事業概要

- 中国横断自動車道「尾道松江線」は、広島県の尾道市を起点に、広島県北部の三次市を經由して島根県松江市に至る**延長137kmの高規格幹線道路**です。
- 本路線は、周辺の高速度道路と接続することにより、中四国の広域なネットワークを形成し、地域間がつながることによる沿線地域の産業・経済・文化の発展を目的とした道路です。
- 今回、**世羅IC～吉舎IC間の20.4kmが平成27年3月22日に開通**することにより、尾道松江線が**全線開通**することになります。



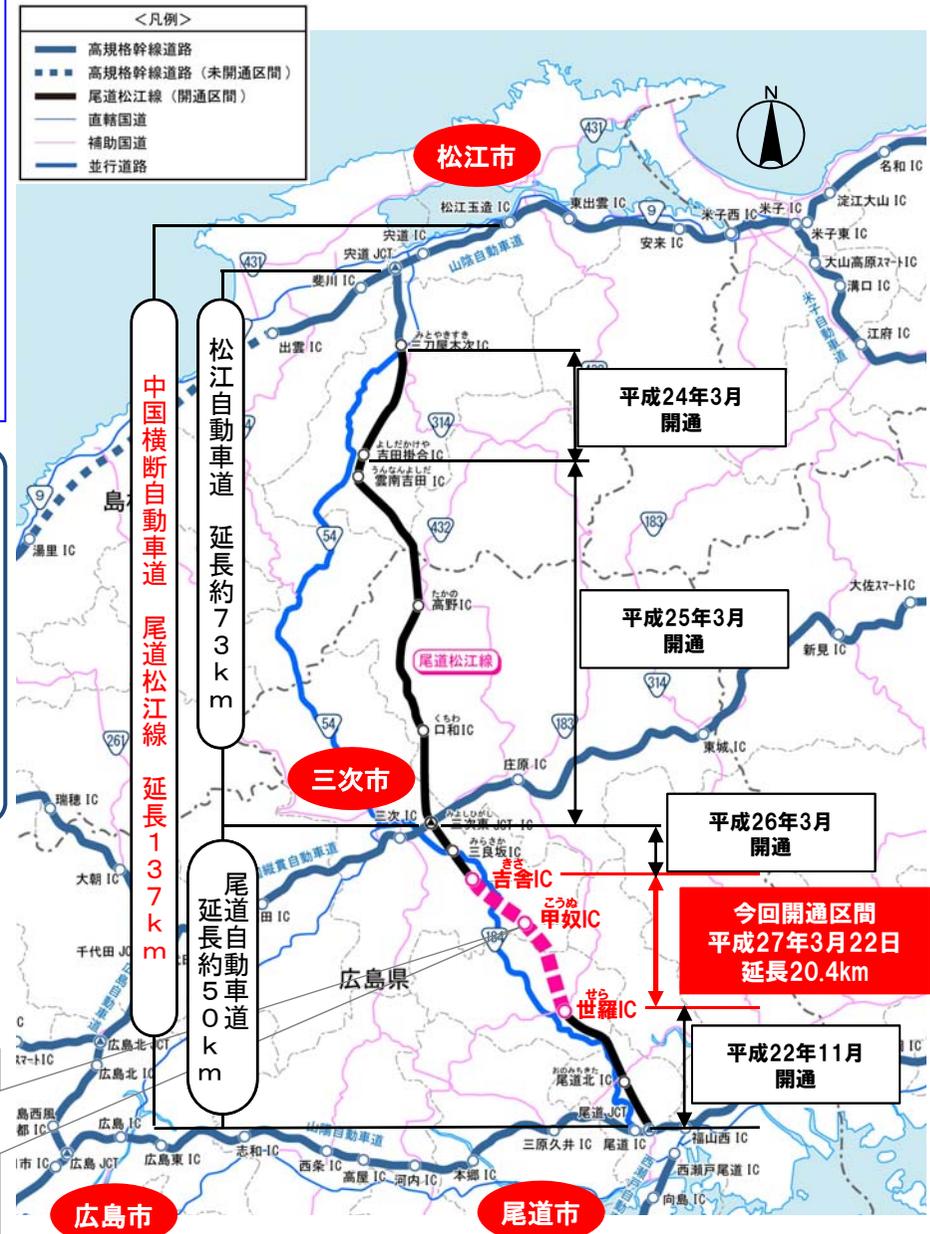
▼今回の開通区間の起終点

起点	終点
世羅IC：広島県世羅郡世羅町川尻	吉舎IC：広島県三次市吉舎町矢井

▼新しいインターチェンジ名称

名称	所在地
甲奴インターチェンジ (IC)	広島県三次市甲奴町

※ ICとは一般道路と高速道路とを連絡させるための施設をいいます。



① 広域周遊が可能となり観光産業の活性化に期待

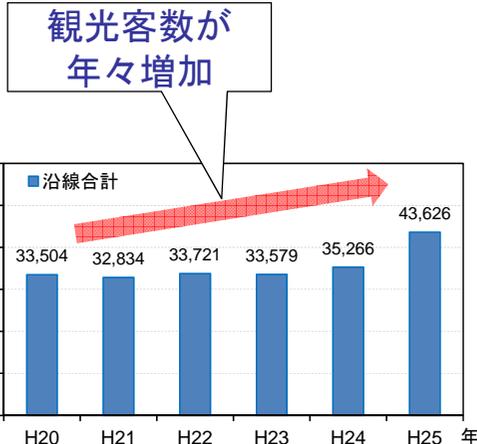
- ・全線開通により広範囲の観光地に行きやすくなるなど、観光地間の移動が快適になりさらなる観光振興の拡大が期待されます。
- ・また、無料の高速道路のため沿線観光地においても観光振興の拡大が期待されます。

▼沿線の観光地



写真：しまね観光ナビHP、島根ワイナリーHP、うんなん旅ネットHP、ひろしま観光ナビHPより

▼沿線の観光客数の経年変化



島根県HP：平成25年島根県観光動態調査より
 広島県HP：平成25年広島県観光客数の動向より

沿線：島根県（松江市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、出雲町）、広島県（庄原市、三次市、世羅町、尾道市）

今回開通区間
 平成27年3月22日
 延長20.4km

地域の声

◆利用者の声

各方面から利便性を実感

尾道方面に行きやすくなりました。これから気軽に観光に訪れることができますと思います。

（松江市在住の50代の女性）

出雲や松江に遊びに行くのに大変行きやすくなり、また行きたいと思います。

（福山市在住の30代の女性）

無料で利用できるのが便利です。道の駅たかのをはじめどこも盛況で、地元の新鮮な農産物が手に入るのも魅力的です。

（広島市在住の60代の女性）

[H26.10 利用者アンケート調査結果より]

◆旅行会社の声

観光エリアの拡大

全線開通すれば時間が短縮するため、日帰り観光の範囲が広がると思っています。山陰方面へ現在は松江どまりであるが、境港まで拡げることを考えています。

（株）中国トラベル尾道支店

[H27.1 事業所アンケート結果より]

松江市～尾道市の所要時間

【整備前】国道54号・国道184号経由

約3時間50分

【現況（尾道JCT～世羅IC間、吉舎IC～三刀屋木次IC間開通）】

約2時間40分

約70分短縮

【整備後（全線開通）】

約2時間30分

約80分短縮

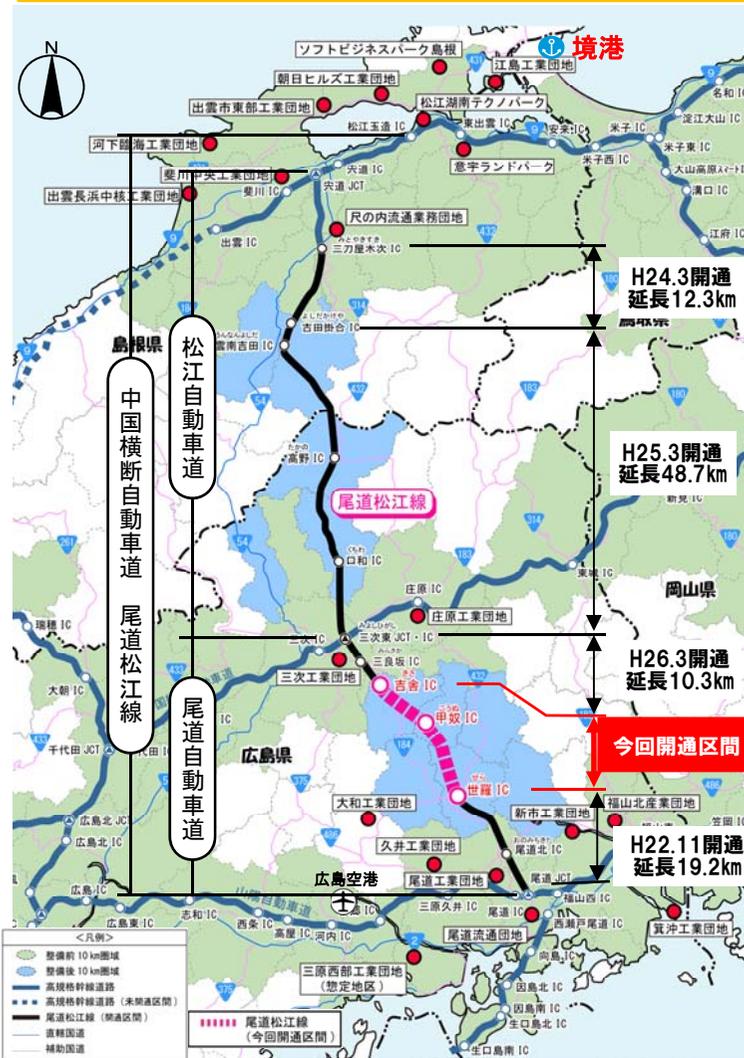
松江市役所

尾道市役所

②地域産業の支援・日本海側拠点港「境港」の利用拡大

- ・物流の効率化により沿線地域の企業立地が進み、**新たな雇用が創出**されるなど、更なる企業活動の活発化により**地域産業を支援**します。
- ・日本海側拠点港「境港」から広島方面や瀬戸内地域との**高速物流ネットワークが形成**され、**北東アジア地域との貿易の拡大が期待**されます。

最寄り高速ICへの10km圏域の拡大

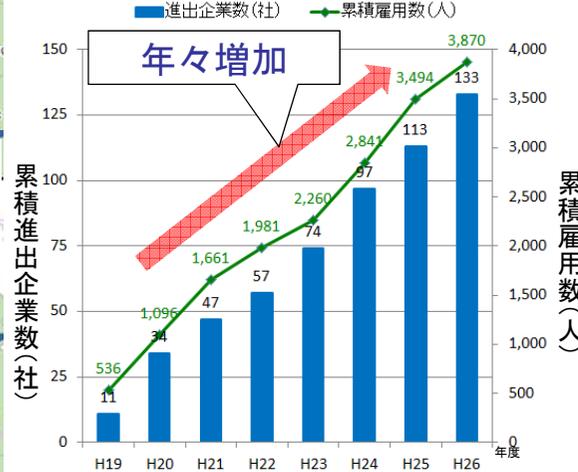


※圏域は旧市町村役場からICまでの直線距離で判定
 整備前：全線（尾道JCT～三刀屋木次IC）未整備
 整備後：全線整備

新たな企業立地・雇用の創出

高速道路の開通を見越し企業が多数進出

▼沿線の企業進出・雇用者数の変化状況



沿線：尾道市（一定規模（投下資本5千万円以上の工場等・H26は見込み含む）の新設・増設数、三次工業団地（H27.4の見込み含む）の新設数、島根県東部（安来市、松江市、斐川町、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町・H27.1時点）の新設・増設数
 資料：H27.1尾道市・三次市より提供、島根県HPより

尾道松江線整備を含めた中四国の高速道路ネットワークを考慮し、尾道流通団地に平成21年度に工場を開設しました。
 今回の全線開通を見据え、平成24年に尾道流通団地に**新たに工場を増築し、また約400人の雇用を創出**しました。
 中四国の物流の効率化に期待します。
 （H27.1日本生活協同組合連合会へのヒアリング結果より）



▼新たに工場を増設（尾道流通団地）



H24.6 尾道冷凍流通センターを増設

資料：日本生活協同組合連合会からの提供

北東アジア地域との貿易の促進・国際物流の拡大

＜北東アジアとのゲートウェイ＞

高速道路の整備、定期航路・航空路の拡充、効率的な物流システムの構築等により、経済成長著しい北東アジア地域へのゲートウェイ（玄関口）としての地理的優位性を発揮し、環日本海国際定期貨客船、米子ーソウル便を活用して、人・物の、西日本における北東アジア地域への窓口となることが期待される。



資料：鳥取県の将来ビジョン（鳥取県）

◆【参考】道の駅「世羅」について

- ・松江自動車道開通に合わせIC周辺に開業した道の駅「たかの」や「たたらば壱番地」は、雇用促進など開業以来、地域の拠点としてにぎわい創出しています。
- ・世羅町においても道の駅を整備中であり、**魅力ある地域の拠点となる**ことで、観光の振興の拡大や雇用創出など、**地域がより一層活気づくことが期待**されます。

道の駅「世羅」の役割



道の駅は道路を利用するための休憩施設が中心であったが、近年はそこが地域の個性、魅力を活かしたひとつの活動拠点としての役割を担うようになってきている。

「世羅」においても、地域の魅力が詰まった場所としてより一層活気づくことが期待される。

道の駅は「地域の魅力が詰まった場所」

■ 道の駅「世羅」イメージパース



道の駅「たかの」(平成25年4月開業)の取り組み

- 平成25年3月30日の三次東JCT・IC～吉田掛合IC間開通に合わせ、道の駅「たかの」が開設し、地元産商品の開発を行うなど地域の活性化に取り組んでいる。
- 初年度の売り上げは目標の倍以上の4億8千万円で、出荷者は当初180会員から330会員に増加している。また、道の駅「たかの」による雇用者増は約50人でうち8割が地元住民となっている。

(H27.1庄原市聞き取り結果より)

▼道の駅「たかの」のにぎわいの様子

